

## 令和8年度 苫小牧市学校教育推進の重点

小中学校の9年間の確かな成長を目指して ～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

### 重点1 児童生徒の資質・能力の向上

- すべての子どもが必要感をもち、自分事として学びに向き合い、深める授業の改革と推進
- 資質・能力を活用し、さらに伸ばすための各学校の組織的・系統的な取組及び学校間の連携強化
  - 共通取組場面に適切に位置付け、子どもたち自身が学びを調整し、アップデートできる授業の創造と推進
  - ICTを効果的に活用し、学びの目的や意図をもち多様な他者とコミュニケーションを図る学習活動の推進
  - 培った英語力を実践力につなげる言語活動を重視した外国語授業の創意工夫と改善
  - 仲間と協働し試行錯誤するための時間と活動の調和がとれた体育授業の充実

### 重点2 豊かな心の育成

- 教育活動全体を通じた組織的・計画的な道德教育の推進
- 全ての教育活動を通じて取り組むいじめ防止に向けた取組の促進
  - 子どもが心に問いをもち、心で考え、納得感をもてる自らの生き方につなぐ道德授業の推進
  - よりよい生き方や人・社会・自然等との豊かな関わりについて考える「こころの授業」の充実
  - 多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生の実現に向けた人権教育や性教育の充実
  - 「いじめ見逃しゼロ」の徹底と、いじめを自分事として捉え、いじめを生まない児童生徒主導の取組の推進

### 重点3 安心して学べる学習環境の確立

- 共生社会実現に向けたインクルーシブ教育の充実
- 多様な学びの場の環境整備と不登校対策の推進
  - 心理的安全性の高い学校・学級風土の醸成
  - 切れ目のない一貫した指導や支援の充実
  - 自立と共生を育む交流及び共同学習の充実
  - 日本語指導が必要な児童生徒に対する組織的、系統的なサポート・指導体制の確立と個に応じた支援の充実
  - 校内教育支援センターの機能化と支援体制の強化
  - 医療機関やSSW、あかり、教育支援センター、フリースクール等との連携によるきめ細やかな相談・支援体制強化

### 重点4 自律を促す基本的習慣の確立

- 学校、家庭、地域との連携・協働による生活・学習習慣の確立
- 望ましい電子メディアの利用と食習慣の確立
  - 「新・学びの3か条」に基づいた児童生徒の自己決定による持続可能な生活・学習習慣の確立
  - 電子メディア利用上のトラブルを「生まない・巻き込まれない」ための情報モラル教育の充実
  - 子どもと保護者が合意形成を図り、望ましい家庭ルールづくりを促すための「子どもと一緒に考える安全・安心な情報機器利用のためのガイドライン」の活用
  - 朝食の摂取の重要性や栄養バランスを考え、食の魅力や楽しさへの気づきを高める食育指導の推進

### 重点5 学校と地域の連携・協働の推進

- 幼小、中高を含む学校段階間の連携・接続の推進
- 社会との連携・協働による教育活動の構築
  - エリアで目指す15歳の姿を具現化するため、確かな児童生徒理解に基づく系統性と一貫性を重視した教育活動の工夫と充実
  - 子どもたちが夢と期待感をもって進学するための体験・交流活動、スタートカリキュラムの充実
  - ふるさと苫小牧をまるごと教材とした、地元企業や学校運営協議会等との連携による学習活動の充実（夢実現教育、職業体験、ふるさと教育、国際交流等）
  - 社会で生きる力を育む「課題解決型教育プログラム」の実践検証及び、成果の還元

### 重点6 質の高い教職員集団の形成

- 専門性と強みを発揮できる教職員の育成
- 不祥事根絶に向けた意識の醸成
- 教員の専門性向上と部活動改革の一体的推進
  - 指導観、児童生徒・保護者観を磨き、授業力・生徒指導力・特別支援教育の専門性の向上を図る実践的研修機会の創出と内容の充実
  - 働きやすさと働きがいの両立を目指す「働き方改革加速化計画」に基づく取組の推進
  - 教職員事故防止や服務規律遵守を教職員が自分事として捉え、実践につなぐコンプライアンス研修の充実
  - 部活動の地域展開と教師の専門性向上の一体的促進（※部活から離れ教師力をor地域クラブ指導者として指導力を）